

令和7年度 第4回市長タウンミーティング概要

と き：令和7年4月15日（火）

午後7時～8時30分

ところ：文化ホールくるる

参加者：107人

○市長あいさつ

（市長より、令和7年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問（市民）

水道の基幹管路や重要施設配水管の耐震化率は9割以上ですが、その先の一般家庭に接続されている枝管については耐震化率が低いと聞きました。基幹管路から枝管まで全て耐震化されている世帯は、全体の何パーセントになりますか。また、個別のマンションがその経路に含まれるかどうかは市へ問い合わせすれば確認できますか。

ルネサンス蕨と市の防災協定について詳細がわかりません。近接している私のマンションの住民は、避難したり、支援物資の受け取りをできるのでしょうか。

回答（市長）

基幹管路や重要施設配水管の耐震化は、復旧や避難所運営の観点からも非常に重要であり、ここが損傷を受けると、能登半島地震のように月単位で復旧に時間を要します。枝管も含めた全体の耐震化率は、今、具体的な数字はわかりませんが、まだ高くありません。個別のマンションへの配水管の耐震化の状況は、路線からわかると思いますので、改めて担当からご連絡させていただきます。蕨市の水道は7割を埼玉県から購入し、3割を地下水から汲み上げて配水しています。地震の揺れによる赤錆の発生や埼玉県の浄水施設の損傷、枝管の損傷など、地震の規模によっては一定割合の家庭で断水が発生する可能性は否定できません。防災訓練などでもお話しているとおり、家庭での水の備蓄など各自の備えが重要ですので、よろしくお願いします。

ルネサンス蕨との防災協定については、一時的な避難場所として利用できる協定を締結しています。公共施設の避難所だけでは対応できない大規模災害の発生時に一時的な避難場所として開設する運用となります。避難場所として開

設した場合は、支援物資も届けられます。

(後日、水道部より、お住まいのマンション周辺の配水管の耐震状況などについて、ご説明を行いました。)

質問(市民)

南町に河鍋曉斎記念美術館がありますが、河鍋曉斎がどのような人物か知っている市民は少ないと思います。蔵に存在している素晴らしい芸術に対して、市ではどのような助成や支援を考えていますか。

市立病院の建て替えについて、調べたところ国保直診病院の指定を受けることで国の支援とは別に助成を受けられると聞いています。建設や機材にかかる費用の調達や補助金の活用について教えてください。

回答(市長)

河鍋曉斎は幕末から明治にかけて活躍した絵師で、海外でも高く評価されています。市では平成27年に河鍋曉斎記念美術館と連携協力に関する協定を締結しており、広報わらびの「天才絵師の作品蔵にあり」の連載やケーブルテレビで放送した特集の動画をホームページにも掲載するなど、さまざまな形で河鍋曉斎の魅力発信に努めています。今後も美術館との連携を強め、文化芸術の振興やまちづくりに活かしていきたいと考えています。

市立病院については、基本構想・基本計画の中で建設費を概算で67億2千万円と見込んでいますが、これは建物にかかる費用で、医療機器等は含んでいません。また、この間の物価高騰の影響は懸念しているところです。建設費に関しては、既に30億円を基金に積み立てていますが、設計にあたってはローコストで必要な機能を確保することを目指します。公立病院に対する国の補助がないなかで、建設費を主に起債で賄いますが、その返済時には財政措置が受けられる有利な制度を最大限活用する予定です。

また、国保直診病院に指定されると、建て替えや医療機器の整備などで補助が受けられるなどのメリットがある一方で、デメリットは特にないため、国保直診病院化を検討しているところです。なお、実現するには条例改正が必要であり、議会のご理解をいただきながら進めていければと考えています。

質問(市民)

新しい図書館の開館を楽しみにしていますが、錦町など遠方から利用する場

合、子ども連れの利用者は車で来館の希望が多くなると予想されます。商業施設の駐車場を利用すると費用がかかるため、図書館利用者のための駐車場の確保や、安価に駐車場を利用できる仕組みを検討していただけないでしょうか。

また、蕨市民は読書への関心が高く、除籍本の配布時にすぐに本がなくなる一方で、読み終えた本を寄贈したいという希望も多いと聞きました。市民同士で読み終えた本をリサイクルする仕組みを作れないでしょうか。

仮設庁舎の跡地利用についてですが、以前あったイトーヨーカドー錦町店のスターバックスは広く、店員も親切で居場所として雰囲気良かったので、ぜひあのような店舗を作っていただきたいと要望します

回答（市長）

図書館を含む再開発施設については、駐車場についても一定数整備されるものの、商業施設等もあるため、なかなか確保は難しい面があります。申し訳ないのですが、ふらっとわらびをご活用いただくなど、工夫をお願いできればと思います。なお、図書館ではインターネット予約による分館での本の受け取りが可能のほか、新しい図書館では、事前に予約した本をスムーズに受け取れる自動貸し出しコーナーを設けるなど、仕事帰りでも使いやすくなる予定です。多くの皆さんに利用しやすい新図書館にしていきたいと思います。

図書館の除籍本の提供については、以前は年に一度でしたが、今は、毎週日曜日に実施しています。図書館の取り組みについては、今後もしっかりやっていくとして、市民同士の読み終えた本を提供する仕組みについて、研究していきたいと思います。

仮設庁舎の跡地については、「にぎわい交流拠点」として人が集まるような民間施設や広場、蕨のゆかりのものを販売する場所などを整備していきたいと考えており、3月末に計画を策定しました。今後、事業者の公募をしていきます。企業により、敷地が国道に面しているかなど参入条件があり、難しい面もあると思いますが、多くの市民の皆さんが利用したいと思える民間施設を誘致できるよう努めたいと思います。

（図書館より 市民の方から図書館に寄贈いただいた本については、図書館への配架や保育園などでの活用のほか、図書館の除籍本の提供時にあわせて市民に提供するなどの取り組みは行っています。）

質問（市民）

私の夫は外国人なのですが、最近蕨市内で引っ越しをする際、部屋探しに大変

苦労しました。インターネットで部屋を探し、仲介業者に問い合わせをした際に夫が外国人だと伝えた時点で、大家さんから「外国人はお断り」と言われ、内見すらできませんでした。私自身が契約者になると伝えても断られることが多く、長年蕨市が好きで住んでいます。このような経験をすると街から拒絶されているような疎外感を覚え、精神的に落ち込みました。現在は部屋が見つかり新しい家に住んでいます。 「外国人だから」お断りというのは差別ではないかと思っています。蕨市は在留外国人の比率が高い街です。実態の把握や問題の是正のために何か取り組みをしているか、あるいは今後予定があるのかお尋ねします。

回答(市長)

蕨市では多文化共生のまちづくりを進めており、ごみ出しのルールなどについて多言語で案内を作成し、必要に応じてごみ集積所に掲示するほか、転入者の方に多言語の生活ガイドブックを配布したり、ホームページに生活オリエンテーション動画を掲載するなど、生活全般の説明をするなどの工夫をしています。今回のような賃貸契約に関する問題は市の直接の所管ではありませんが、市役所には外国人総合相談窓口を設置しており、困りごとの相談があれば英語と中国語が話せる職員が対応できる体制を整えています。また、宅建組合とも連携し、不動産相談も実施していますので、タウンミーティングでこのような声があった旨を伝えるなど、様々な機会を通じて改善を図っていきたいと考えています。何かご相談があれば、市役所の相談窓口をご利用いただければと思います。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。